

井草会報

2024
NO.57

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

新会長挨拶 ～親しみやすい井草会活動を目指して～

井草会 会長 鎌形 香代子 27回生(昭和50年卒) F組



井草会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと御喜び申し上げます。また日頃より井草会活動へのご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

この度、令和六年度定時幹事総会においてご承認をいただき、第十二代井草会会長に就任しました鎌形香代子と申します。

伝統ある都立井草高校の同窓生である誇りを胸に、井草会と母校のさらなる発展のため、微力ではございますが誠意をもって努力する所存でございます。

対面での活動を著しく制限されたコロナ禍を経、より安

心安全な活動をいまだ模索中ではございますが、一昨年よりクラス会・同期会開催報告も増え、本格始動の兆しが見えております。

井草会会員の皆様はもとより、母校現役生にも身近な支援組織としてご理解いただくことを目標に、役員・理事とともに、創意工夫をこらし活動してまいります。

これまでご尽力いただいた歴代の井草会会長の皆様に深く感謝の意を表すとともに、井草会会員の皆様には一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、会長就任のご挨拶に代えさせていただきます。

同窓会パーティー復活に向けて

同窓会委員長 田村 光孝 31回生(昭和54年卒) E組



昨年の井草会報におきまして「アフターコロナ時代・井草の絆をどう紡ぐか」との話を寄稿させていただきました。

コロナ禍により未開催の2021・2023年同窓会パーティーを楽しみにしていた記念学年の皆様には本当に心苦しい思いでコロナ感染症収束の時期を見守ってまいりました。呼掛けを実施できなかった記念学年は、卒後30年世代・還暦世代・古希世代・傘寿世代で計16期の学年になります。それぞれの節目で楽しみにしていた記念学年をどうするか。

私たち同窓会委員は、昨春、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行されたのち、停滞していた活動の中で同窓会委員会の役割の再確認と今後の同窓会パーティーのあり方を含めて検討してまいりました。

新しい生活様式が浸透する中で新しいライフスタイルも定着しています。また、同窓会に対する各世代の考え方も万別です。そのような中、これまでの同窓会パーティーの

形式も見直す必要があるのではないかとこの意見が大勢を占め、常任理事会及び合同委員会においてもご理解をいただきました。

同窓会委員会の役割としてまず果たすべきことは、「同窓が集まる機会作りを提供する」こと。

このことを念頭に今後、同窓会パーティーのあり方を模索していきたいと考えております。もし、よいお知恵がありましたらご意見としてお寄せいただきたく思います。

同窓会委員会のみならず井草会全体においても必要な支援、協力者は、卒業時に選出された「クラス幹事」となります。毎年開催される定期総会にあたりご案内を発送しているメンバーでもあることから「井草会」を支える主要な構成員でもあります。

今後、同窓が集まる機会作りのメンバーとして様々な形でご協力を賜りたいと考えています。今年、アクションを起こします。

目次

新会長挨拶・同窓会委員会より	1	キャンパスニュース	8
2023年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告	2～4	64回生「青春の宝探し」	9
恩師からの便り	5	母校への支援活動報告	10
OB・OGインタビュー (安岡 恵斗さん)	6	幹事総会報告	11
会員からの便り	7	井草会掲示板	12

2023年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告

世の中が、また動き始めました！ 井草会の皆様の笑顔をお届けします。

※紙面の都合上コメントは編集しています。原文は井草会ホームページでご覧になれます。

※卒年について、「平成」以降は西暦で表示しています。

同期会



29回(昭和52年卒)同期会

2023年11月11日

銀座ライオン池袋店

銀座ライオン池袋店にて、高校29回の同期会を開催しました。前回4年前の開催でしたが、ようやくここ最近自粛ムードもおさまって、この機を狙い開催しました。卒業以来初めて同期会に参加するという人も数人おり、懐かしい顔に皆さん楽しさが爆発しました。やはり旧友との再会は格別です！

(樗木荘太)



64回(2012年卒)同期会・タイムカプセル発掘

2024年2月17日

渋谷 セブンクローバー

会うのが10年ぶりという人がほとんどでした。懐かしい話に、皆盛り上がっていました。当時の思い出が一気によみがえりました。多くの同期生に会え、楽しそうな表情をたくさん見ることができ、本当に楽しい時間になりました。またの機会にぜひ皆さんお会いしましょう。

(幹事 高山寛喜)

(P.9 “青春の宝探し”もご覧ください)

井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けています。この制度は井草会の事業の一環であり、会員の年会費によって賄われています。

【利用条件】 援助金は、30名以上の同期会、10名以上のクラス会やOB・OG会に対して給付されます。

【援助額】 1,000円/人で、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの利用となります。

※2年連続の利用はできません。

【手続】 井草会ホームページの援助金事前申請フォーム（以下URL・2次元バーコード）に必要事項を入力し、必ず開催日の2週間前までに申請してください。 <https://www.igusakai.org/enjokin/>

※事務手続きの都合上、郵送による事前申請は終了いたします。

受け付け確認後、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。





14回(昭和37年卒)G組

2023年11月25日 上井草 とんでん

幹事代表・湊氏の挨拶から始まり、傘寿の祝いと健康を祈り、祝し、乾杯! 寄る年波における現在の状況を話し、共感し分かち合う。懐かしくうれしい喜びの時となる。皆で井草高校校歌を唱和、うれしく楽しく歌う。

クラス会



15回(昭和38年卒)D組

2023年5月11日

ダイナミックキッチン&バー 響 新宿サザンタワー店



21回(昭和44年卒)H組

2023年9月23日 天狗(新宿)

コロナ等諸事情で開催出来なかった5年間がとて待ち遠しくて、当日はあっという間の2時間でした。今後も体力の続く限り継続して行こうと参加者一同約束して散会となりました。(宮本静代)



23回(昭和46年卒)F組

2023年10月17日 かに道楽銀座店

4年振りに開催しました。18名参加しました。70才を過ぎましたが、皆さん元気でそれぞれの道で活躍しています。銀座で美味しいかに料理をいただきながら様々な話題で盛り上がり、あっという間の3時間でした。来年も楽しいクラス会を開催予定です。(赤羽根裕行)



24回(昭和47年卒)E組

2023年9月30日 新宿ライオン会館

中には何十年ぶりという人もいますので、わかるようにと高校の時の名前の名札を付けてもらい、以前のクラス会の写真でミニアルバムを作りましたが、すぐに会話が弾み、あっという間の3時間でした。これからは年に1度はクラス会、ミニクラス会をして会いましょう。そのために元気でいられるよう一本締めで気合いを入れ閉会しました。(酒井尚美)



24回(昭和47年卒)A組

2023年11月24日 南国酒家京王新宿店

4年ぶりの開催となりました。参加者は10名。久方ぶりの再会で近況報告や、子供、孫などの話で大いに盛り上がりました。(佐藤美敬)



25回(昭和48年卒)I組

2023年11月2日 赤坂陽光ホテル

「祝い! 卒業50年・来年古希」のクラス会を10年ぶりに開催。「乾杯!」の掛け声とともに18歳の高校生に戻って、笑顔での会話が弾み、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。これからもずっと皆さんとの絆を大切にしたいと思った会でした。(大矢悦子)



26回(昭和49年卒)D組

2023年10月19日 新宿野村ビル 響

近況報告をしたり、昔話に花を咲かせたりと、楽しい時間を過ごすことができました。次回は、3年後に古希クラス会を予定しています。できれば、温泉地あたりでゆっくりできると良いのですが。(岡田雄一郎)



27回(昭和50年卒)F組

2023年10月19日 音音新宿センタービル店

参加者の近況報告では、バラエティに富む内容にエール交換の嵐なりやまず。一方、うれしはずかし18歳の思い出を語りあっては、お腹が振れるほど笑い来年の再会を誓って解散しました。(幹事 町田秀彦・鎌形香代子)



27回(昭和50年卒)G組

2023年9月3日 音音新宿センタービル店

ようやく久々のクラス会。18人という大人数が揃い、大いに語り、大いに笑い、あの当時に戻ったかのようなようでした。早くも次の開催が熱望されています(^) v 森脇先生にもいて欲しかったです。ご冥福を祈ります。(井手房子)



30回(昭和53年卒)C組

2023年11月11日 上野 古月

2001年より毎年開催しているクラス会です。お酒も入れれば楽しい会話は尽きず、一緒に年令を重ねる事の心強いこと。会うごとにみんなの笑顔が柔らかくなってきたのも嬉しいポイント。(名取眞一・高橋理子)



30回(昭和53年卒)G組

2023年11月10日 銀座ライオン新宿エルタワー店

約15年ぶりにクラス会を開催しました。参加された皆さんの笑顔にあえて楽しいひと時を過ごしました。海外からの参加者もあり、「またやろうね!」ということでお開きとなりました。(新井信晶)



32回(昭和55年卒)E組

2023年11月11日 なるたか

4年ぶり、還暦を迎えて初めての開催となりました。久しぶりの再会とあって話しがつきこともなく、あっという間の2時間でした。室岡先生のバイオリン演奏もすばらしく、皆聞き入っていました。次回のクラス会での再会を約束し、散会いたしました。(幹事 野瀬千資)

OB/OG会



生物部(昭和45年~47年卒)OB/OG会

2023年6月18日 上野・国立科学博物館

昭和45年~47年卒の11名で、開催中の「日本の哺乳類学の軌跡」を見学しました。その後博物館屋上で昼食を取り、在学中の話や近況報告をしました。生物について学び続けることの楽しみを再認識させてくれる貴重な時間でした。



恩師からの便り



むとう あきら
武藤 亮 先生

2006年～2023年
社会科 政治経済担当
17年間ずっと進路指導部
17年間バドミントン部
13年間社会福祉研究部

～井草高校へ17年分の感謝を込めて～

昨年の春、17年間お世話になった井草高校を最後に40年間の教員人生にピリオドを打ちました。井草ではずっと進路担当として、井草生の進路実現のお手伝いをしてきました。本当に楽しい17年でした。ただひとつだけ心残りなのは、井草で一度も担任を持ってなかったことかな。今は教育コンサルタント（進路ラボ 代表）として、相変わらず高校生の進路を応援する日々を送っています。

井草ではとても濃い17年を過ごしました。着任早々の2006年夏、校舎の部分改築と耐震工事のために職員室がある管理棟が引越（ご安心ください、昭和の教室棟は健在です）。翌3月は、はしかの集団発生がありました。生徒は登校禁止になり、終業式もありませんでした。2011年の東日本大震災では、耐震工事を終えたおかげで大きな被害はありませんでした（それ以前からひどい雨漏りです）。2012年には初めての模擬投票（本業は政経の先生です）。都知事と衆院のダブル選挙（石原さんの国政復帰と野田内閣の「近いうち解散」）で、生徒達は本物の候補者に投票しました（18歳選挙権を控え、多くのマスコミが取材に来ました）。忘れもしない、2020年からの3年間は新型コロナの学校生活。生徒も教員もガマン、ガマンの毎日でした。入学式、体育祭、合宿、井草祭、修学旅行など全て中止でした。

進路担当としては、2007年に「igusa 夢 project」を立ち上げ、「卒業して10年、28歳のじぶん」を合言葉に、高校の先のさらにその先を考える「ホンモノの進路指導」を実践してきました。その成果は毎年の会報でご存じですね？今春の入試結果も過去最高の数字と伺っています。

井草生は3年で卒業、教員も今は6年で異動です。しかし井草会の諸先輩方から受け継いだ80有余年の伝統や、「自主・自由・自律」の精神は少しも変わらず井草生に、あの校舎に、あの校庭に生き続けています。これからは私も外から井草高校の発展を応援します！



すぎの ふみえ
杉野 文栄 先生

2000年～2014年
英語
男子バレーボール部顧問
卓球部顧問

～井草の思い出～

私は40歳代はじめから50歳代の後半まで、14年間にわたり、井草高校に勤務させていただきました。その間3回の学年担任や地域でボランティア活動をする「奉仕」を担当し、数え切れないほどの感動をいただきました。顧問の男子バレーボール部では、バレーボールは全くの素人でしたが、卒業生のコーチの皆さんが指導をしてくださり、公式戦も監督として引率しました。引退試合のたびに部員の皆さんと涙を流し合ったのは決して色褪せない思い出です。井草高校での日々を振り返るといつも生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様、同窓会の方々に支えていただいていたことに改めて感謝の気持ちで一杯です。

井草高校は私にとって3校目の勤務校でしたが、着任して最初に驚いたのは「自主・自由・自律」という校風そのままの澆漕とした生徒の皆さんの姿でした。生徒総会を生徒だけで運営したり、井草祭や体育祭の準備など自分たちでどんどん進めたり、当時はクラス単位の遠足を実施していたりと、何もかもが輝いて感じられました。

学習面でも目標に向かって友人と切磋琢磨して努力する姿にいつも心を打たれました。遅くまで自習室で勉強したり、夏休みには「インテンシブセミナー」として合宿のようにお弁当を注文して受験勉強に励んだりするなど、熱心な生徒の皆さんと学ぶことは本当に幸せな時間でした。先輩が自分の経験を糧として後輩に伝えていく井草高校の伝統が、輝かしい進路実績を作り上げているのを感じました。

私は2年前に都立高校を退職いたしました。井草高校で初めてお会いした生徒の皆さんは40歳にもなられていて時の流れの速さに驚きますが、今でもご連絡をいただくことがあり、井草高校の絆を感じます。校歌の通り「親愛和気あふれる」同窓生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

OB・OGインタビュー

やすおか けいと
安岡 恵斗 さん

(64回生(2012年卒)D組) (株and Vet 代表取締役 / 獣医師)

獣医師として動物病院を運営しながら、新たな国家資格「愛玩動物看護師」取得をサポートする業務や、獣医学を取り巻く環境整備に奔走する安岡恵斗さんにお話を伺いました。



—現在の仕事は

井草高校を卒業後、2浪を経て麻布大学獣医学部に入学し、獣医師になりました。北海道で臨床獣医師を経験、その後は臨床を続けながら動物病院のマネジメントに携わる機会をもらい、3年後に独立しました。現在は千葉で動物病院2つと往診病院1つの計3病院を運営しています。さらに昨年、愛玩動物看護師という新たな国家資格ができたのをきっかけにその受験者をサポートする事業を始めました。試験対策用のアプリ開発や全国模試を展開し、業界で30%を占める事業に成長しています。動物病院運営と愛玩動物看護師資格取得支援の2つの事業が経営する(株)and Vetの柱です。社名の「vet」(veterinarian)は英語で獣医の意味で、「and Vet」のコンセプトは、「【 】×獣医」。獣医の職域を拡大することで動物に関わる専門家の環境改善や社会的価値の向上を目指しています。



—獣医になるきっかけ

小さい頃から動物が大好きで、物心ついた時から獣医師になると決めていました。

高2の夏にアラスカに一人旅をしました。現地に親戚がいたので、バックパック背負って、テント持って、親戚宅とホテルを拠点に動物を見て回りました。アラスカでは動物が大切にされています。大渋滞の先に行ってみると道に巨大な動物が寝そべっていて、東京だったら動物をどかすか音を鳴らして逃したりしますが、どいてくれるまで待っているのです。動物へのリスpectのあるすごく素敵な所だと思いました。アラスカでは獣医師はとても尊敬されていて、改めてかっこいい仕事だと思いました。ただ、高校時代の僕は決して優等生ではなく、部活に入らず、仲良し5人組でいつもダラダラしていたり、バイクに乗ったりして少々やんちゃでした(笑)。当時、杉野文栄先生(英語)という優しく面倒見の良い先生がいらして、そんな心許ない僕をいつも厳しくも温かく見守ってくれていま

した。獣医学部はかなり難易度が高いのでなかなか受験の決心ができず、自分の成績でも行ける別の学部で指定校推薦を受けてしまおうかと迷ったこともありました。そんな時に杉野先生が「本当にそれでいいのか」と声を掛けてくれて、「獣医はあなたに合っているよ」と。結局推薦を受けずに獣医を目指す決心を固めました。

—注目の愛玩動物看護師資格

去年できたばかりの国家資格です。これまで獣医が行うオペの助手や採血などは病院スタッフが無資格で行うこともありました。しかし、動物の健康寿命が伸び、人間のような生活習慣病が増えて医療が高度化する一方、動物の地位も上がってきました。こうした状況下で誕生した資格ですが、試験に向けた勉強方法がわからない人が多かったため、その対策のアプリや全国模試を始めるところ、受験生の3割が利用するまでになりました。獣医学部のある大学や専門学校卒の人が受ける国家試験になりますが、動物に関わる仕事をしたいという人の選択肢が増え、確実に今後成長する職業になると思います。

—後輩へのメッセージ

井草は自由な校風なので、勉強だけでなく、思い切り高校生活を満喫してください。僕が今この歳で比較的順調に行っているのは目標を定めたのが早かったからだだと思います。これから色々な決断を迫られることがあると思いますが、大きな目標が決まっていればぶれることはありません。それを決めるのが難しいのですが、自由な校風の中でも自分の将来像をしっかり持っておくと、多少遠回りすることがあってもなりたいたい自分に確実に近づけると思います。

井草会ホームページで
 インタビュー全文を掲載





会員からの便り

～皆様から寄せられた
お便りをご紹介します～

<昭和31年卒 8回B組 小坏(吉塚)栄子>

運動音痴の私は娘達が小学生になってから国立競技場の水泳教室に通いました。週一回の練習が終わって千駄ヶ谷から総武線に乗ったら目の前に大隅芳秋先生が座席に居られました。私は嬉しくなって「先生！」と大きな声を出してしまいました。先生は「B組の吉塚さん」とにこやかに返して下さいました。私のことを覚えていて名前を呼んで下さった。ほんの数分のことでしたが井草時代と変わらぬ穏やかな笑顔とお話し振り、50年程経た今もはっきりと思い出されます。運動音痴の私は80歳まで水泳教室の先生でした。



<昭和37年卒 14回E組 町野 朔>

平成20年の秋、日本学術会議第20期の会員の任命式が首相官邸で行われた。森喜朗首相に代わって任命書の交付を行ったのは、中川秀直官房長官、交付を受けた会員は大橋謙策日本社会事業大学学長、町野朔上智大学教授（私）であり、いずれも井草昭和37年卒である。さらに中川と私はE組であり、彼が私に、交付に際して「よっ」という感じで手を挙げたので、一瞬、その場でさざ波が立った。井草を卒業してそれぞれの道を歩き出し、それぞれの活動を折に触れ知ることのあった我々ではあった。我々3人が一つの狭い空間を、一瞬共有したことは、理由もなく誇らしい気分がした。

そもそも学術会議会員なるものは、いつの時代にも評判の悪い存在であり、自分が任命されたことは自慢できることとは思っていなかった。山崎豊子著『白い巨塔』の財前吾郎は、会員になるために各大学に激烈な選挙運動をした。学術会議はこのような弊害を除去するためとして、現会員が次の会員を「招待する」(co-optation)という選任方法を導入した。ところが、これは、国家安全保護法制反対のための同志を糾合する手段として使われているとして、政府が新会員の任命を拒否した。

みんな、どう転んでも日本の将来に変わりはないと思っている。

<昭和42年卒 19回C組 池田(高島)みち子>

私は毎朝友と「good morning」で始まる英単語ラインをしています。コロナ自粛期間中、何か刺激になることはないかしら？と冗談まじりに友と始めたのがきっかけです。今思えば、高校の時もっと真剣に勉強していれば良かったと反省しながらも、「take care each other」と結んでいます。今年後期高齢者1年生、ボケ防止のお遊びと心得ながらも、自己満足の我流英単語ライン。皆さんもいかがですか？結構はまりますヨ。

<昭和58年卒 35回C組 山口 和紀>

ジェットロ（日本貿易振興機構）の所長としてパキスタンのカラチに駐在して早4年3カ月が経ちました。カラチは街のいたるところが老朽化し治安も悪く世界の不人気駐在地の一つですが（と言っても私は妻と愛犬と楽しく過ごしています）、昔々カラチは繁栄し、NYと並ぶ憧れの駐在地だったといひます。なぜか。それは戦後復興期にパキスタンの綿花が日本の軽工業を支えたからです。その繊維製品は欧米に輸出され、得た外貨は化学や鉄鋼産業の設備の輸入に使われました。そして日本は驚異的な経済成長を遂げ、私が生まれた1964年には新幹線が開通し、東京五輪が開催されるに至ったのです。パキスタン綿花がなければ日本の戦後復興はかなり違ったものになっていたはずです。

大学は明治で英語とは無縁の生活でしたが運よく米国留学することができ、卒業後はジェットロに職を得ました。海外駐在はシドニーとカラチ。子供のころの夢を実現できたのも井草の英語のおかげと思っています。



カラチのランニング仲間と（左端がご本人）

埋蔵場所不明！？ 奇跡の発見！ 64回生「青春の宝探し」

まだ肌寒い2024年2月17日の午後、井草高校の体育館の北側の庭に集まったのは、64回生の精鋭隊10数名。彼らのミッションは、12年前の卒業式間近に埋められたタイムカプセル発掘だ。

午後1時過ぎ、タイムカプセルが埋められているプレートの下を掘り起こし始めた。しかし、スコップが突き刺さる地面



このプレートの下には無かった！

からは、タイムカプセルの気配がまるでない。「まさか別の場所…？」不安がよぎる中、遅れて到着したタイムカプセル埋設担当者が記憶を絞り出す。「この辺だったような…」。どうもプレートが埋められた場所から移動されてしまったようだ。



笑顔で掘り始めたものの…

精鋭隊がそれぞれスコップを持ち、広くあちこちを掘ってみるようになった。しかし、なかなか見つからない。この日はタイムカプセルを掘り起こしたのち、その中身を広げながらの同期会が計画されており、肝心のカプセルが見つからなかったら計画が台無しである。皆の顔に焦りが浮かんでくる。

スコップが土を掘り起こす音だけが響く沈黙の現場。焦燥感と諦めの空気が漂い始めたその時、「あった！」という歓声が響き渡る。白いカバーが現れたのだ！

慎重に掘り進め、ついにタイムカプセルが姿を現す。まるで眠っていた宝箱だ。蓋を開けると、そこには12年前の青春がぎゅっしり詰まっていた。未来の自分に向けた手

紙、淡い恋心をしたためた手紙、卒業時の通知表、修学旅行で買ったアロハシャツ、井草祭のイベントの看板…懐かしい思い出が蘇る。探し始めてから1時間45分が経過していた。

「見つけるのは大変だったけど、感動した！」「土の匂い嗅ぎながら昔の自分と再会できて最高！」精鋭隊の顔は笑顔で輝いている。今回の発掘企画の立役者、室伏良奎さん(64回生D組)は、「最初は全然違うところにプレートがあり見つからなかったけど、当時の情報を頼りに掘り出すことができ感動した」と感慨深げ。

掘り出した「宝物」を持って、精鋭隊は渋谷へ向かう。夜には同期会が待っている。タイムカプセルと共に語り合う時間はきっとかけがえのないものになったのだろう。

※64回生の同期会の模様はP. 2



カプセルの蓋は皆で「セーの」



「青春の宝箱」を掘り出し笑顔の精鋭隊の皆さん

母校への支援活動報告

～特別資金からの「部活特別助成金」支出が井草会定時幹事総会で承認されました～

●部活特別助成金承認の流れ

1981年に老朽化した旧同窓会会館の取り壊しに伴い、井草会の新拠点となる事務所の開設を目指して、1994年から2010年に渡り「事務所開設準備金（2022年度定時幹事総会で「特別資金」へ科目変更）を積み立ててきました。2019年の常任理事会で事務所開設断念を議決以降、この資金の用途について議論を重ねてきましたが、コロナ禍での議論中断もあり、有効な用途を決めかねていました。そのため2023年12月にこの資金の内600万円の活用について粕谷校長、金子副校長を交えて話し合う機会を持ったところ、学校側より「近年高騰している部活動の外部施設使用料の継続的支援をしてほしい」との要望がありました。

2011年より当時の事業委員会予算での井草高校活動助成金として開始した「井草高校助成金」は、これまで、テント、来客用スリッパ、部活成績発表垂れ幕などの備品、特別イベント用音響設備補助、関東もしくは全国大会遠征費援助など幅広く学校からの要望に応じ助成してきました。

今回新たにこの「井草高校助成金」とは別枠で、現役生の約7割が所属する部活動を日常的に広く支援し、充実した井草生時代が送れるよう、また井草会が現役生にとって身近な支援組織であると認識してもらうために、「部活特別助成金」として、前述の「特別資金」から600万円を支援することが2024年5月25日の井草会定時幹事総会で承認されました。

●部活特別助成金の内容

現役高校生の部活動に対して、2024年度より、年間50万円の財政支援を2035年度までの12年間に渡り、計600万円を継続的に支援する。

●部活特別助成金へ込めた想い

部活特別助成金の支援は、部活動の健全な発展と生徒の学校生活の充実に寄与することを目的としており、母校の発展協力を存在目的の一つとする井草会はできる限りの支援を行うものとして、常任理事会にて一定の議論を行ってきました。

定時幹事総会においてもこの議案に対しては活発な議論がなされました。「単に助成金という形で学校に

資金を提供するのではなく、教育的な視点を踏まえ、部活動に参加する生徒自身が主体となって考えるなども検討すべきでは」「12年間で終了した場合、13年目には助成金は0となるという支援の仕方ではないのか」などの意見も聞かれました。

そこで、財政支援期間の12年間以降は井草会としても支援継続が難しい状況となることを踏まえ、学校側も継続的な部活動費用の財源確保への努力を惜しまず続けて頂きたい旨を、この特別助成金支援にあたり、併せて学校側へ申し入れました。

●井草会より母校への具体的な申し入れ内容

1. 「部活特別助成金」支援期間並びに支援期間以降についても学校側も部活動資金確保の永続的努力を続けること
2. 「部活特別助成金」の対象となる部活所属の生徒と井草会とがコミュニケーションをとり、井草会活動を身近に感じられる機会を設けること



部活風景

●校長からのお礼コメント

令和6年度井草会定時幹事総会にて本校部活動の財政支援を決定いただき、心より感謝致します。生徒諸君の学びを更に深化させるべく、教職員一同尽力して参ります。

第24代校長 粕谷真由美

2024年度定時幹事総会報告

5月25日（土）、2024年度定時幹事総会が母校視聴覚室にて開催されました。当日は幹事40名の出席（＋委任状275名）により必要定足数50名を満たし、総会が成立しました。

来賓として粕谷真由美校長先生、金子敬太副校長先生、菊地ますみPTA会長にご臨席いただき、それぞれの方々より母校支援に対する感謝の言葉と今後も協力をお願いしたいとのご挨拶がありました。また、校長先生より今年度の予算計上で校舎等の大規模改修が決まり、10年後には新校舎が披露されるとの報告もありました。

議案書に基づいて、2023年度の各委員会事業報告・決算報告・監査報告があり、審議承認事項として①特別資金からの部活動助成金支出の件②井草会個人情報保護についての改定の件③井草会振興助成規則の改定の件が審議され、活発な意見が交わされましたが、いずれも挙手採決により賛成多数で承認されました。続いて、2024年度の事業計画案・予算案・役員改選案が審議され、いずれも賛成多数で承認可決となりました。

今年度より会長に鎌形香代子さん（27回F）が就任し、会計に岩崎静枝さん（30回H）が加わりましたので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、審議承認事項①についてはP.10をご覧ください。

2024／2025年度 役員・理事名簿

会長

鎌形 香代子 27F ○

副会長

宇都木 夏也 37C ○

会計

町田 秀彦 27F ○

岩崎 静枝 30H ○

監事

遠矢 良隆 6A ○

久米 浩一 26D ○

事務局

中村 啓子 18E ○

宮崎 博美 37B ○

中井 淑子 7C ○

瀬戸山 邦二郎 15D

本田 英俊 16B

安田 忠 21G

日野 純子 24H

採田 邦子 29F

インターネット

宇都木 夏也 37C

林 有紀子 37B ○

難波 俊樹 37G

会報

新妻 成一 35F ○

日野 純子 24H ○

中井 淑子 7C

西田 實 17B ○

中村 啓子 18E

出野 由美子 35A

高田 佳穂里 35B

本間 潤 35D

高橋 一介 37B

同窓会

田村 光孝 31E ○

中村 啓子 18E

安田 忠 21G

田中 信雄 29B

五十嵐 恵理子 31B

幡野 佐 34I ○

日下 智博 37D ○

難波 俊樹 37G

西野 幸一 38B

茂木 祥子 38E

○印は常任理事会参加メンバー

※重複は省略

2023年度決算・2024年度予算

2024年3月31日現在

収 入

(単位：円)

項 目	2023年度予算	2023年度実績	2024年度予算
繰越金	3,604,735	3,604,735	4,106,690
入会金	1,040,000	1,040,000	1,056,000
会費	2,600,000	2,706,000	2,600,000
寄付	600,000	647,346	600,000
部活特別助成金			500,000
雑収入	100	6,086	100
合 計	7,844,835	8,004,167	8,862,790

支 出

項 目	2023年度予算	2023年度実績	2024年度予算
会報委員会	2,970,000	2,778,552	2,970,000
会報通信費	1,270,000	1,246,632	1,270,000
会報印刷費	600,000	634,379	650,000
その他	1,000,000	864,053	950,000
委員会活動費	100,000	33,488	100,000
同窓会委員会	600,000	287,970	550,000
クラス会等援助金	500,000	280,000	500,000
委員会活動費	100,000	7,970	50,000
インターネット委員会	100,000	8,127	100,000
事務局	1,000,880	817,698	1,500,000
委員会活動費	400,000	308,579	400,000
井草高校助成金	300,000	250,000	300,000
年会費振込手数料	300,000	259,119	300,000
入会金振込手数料	880	0	
部活特別助成金			500,000
会 計	20,000	5,130	20,000
予備費	3,153,955	0	3,722,790
支出合計	7,844,835	3,897,477	8,862,790
繰越金	0	4,106,690	0

財産目録

(2024年5月25日現在) 単位：円

特別資金	15,000,000
(事務所開設準備金の科目変更実施)	
母校支援特別資金 (からまつ山荘閉荘資金)	800,000
(2021年度繰越金から資産計上に振替)	
資産計上計	15,800,000



井草会掲示板

■ 年会費・寄付の納入方法

井草会は会員の方々の年会費（2,000円）で運営しています。同封の払込用紙以外でも納入できます。年会費以外に寄付も受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

◆スマートフォンアプリからも払い込みできます。決済額はコンビニ払い同様、払込用紙に印字されている金額のみのお支払いとなります。

◆払込用紙での納入（郵便局） ※コンビニも可

井草会報に同封の払込用紙では郵便振替とコンビニエンスストアでの払い込みができ、いずれも払込手数料は不要です。

◆郵便振替

東京00120-4-84359 井草会

◆一般金融機関から振り込み（ネットバンク使用可）

一般の金融機関、ネットバンク等から振り込まれる場合は右記の口座をお願いします。振込手数料はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
店名	〇一九店（ゼロイチキユウ店）
口座種目	当座
口座番号	0084359
口座名	イグサカイ
年会費	2,000円 ※2,000円を超えた金額は寄付
振込（依頼）人名	卒回または卒年 組 氏名（旧姓）
※例：38C イグサハナコ（ヤマダ） 1986C イグサハナコ（ヤマダ）	

◆寄付・その他

井草会報に同封の年会費払込用紙の金額を修正して郵便振替、または一般金融機関から振り込みができます。ただしコンビニエンスストアでの寄付納入はできませんのでご注意ください。

恩師の訃報

廣瀬 和清 先生	令和4年7月23日逝去
佐藤 哲雄 先生（昭和55～59年）	令和4年8月27日逝去
増田 信 先生（昭和43～46年）	令和5年1月22日逝去
名倉 敏生 先生（昭和50～平成5年、数学）	令和5年2月11日逝去
平松 利夫 先生（昭和60～63年、教頭・数学）	令和5年4月17日逝去

※お詫びと訂正：前号のP.2「OB・OGインタビュー」の蓮見翔さんの卒業年は、正しくは2016年卒68回で、聞き手の山岸萌さんは64回生C組です。また、P.9「キャリアアップ集中講座」講師の感想の池尻燈さんは65回生B組です。お詫びして訂正いたします。

■ 2023年度一般寄付金寄付者名簿

2024年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

高女1	増 沢 さ だ 子	8	高校26	五 十 嵐 宏	3
高女4	内 堀 綾 子	8		岡 田 雄 一 郎	3
	関 美 奈 子	3	高校27	仰 木 明	5
	亀 井 恵 美 子	10		町 田 秀 彦	50
高校2	坂 本 洋 子	3	高校28	小 原 久	30
高校5	大 西 久 江	3.5	高校29	塚 田 則 彦	50
高校7	渡 辺 き さ 子	8	高校30	新 井 信 晶	10
	沼 滝 昌 子	8		大 場 肇	3
高校8	小 林 蕙 子	1		青 木 章	1
	瀨 尾 行 弘	3		石 田 真 樹	3
高校9	武 田 好 永	2		辻 田 洋 一	3
	渡 辺 正 義	3	高校31	藤 吉 和 彦	4
	越 川 葉 子	3		橋 本 佳 幸	8
高校12	中 林 保 彦	3		滝 川 直	10
	細 野 恭 代	3		一 木 朋 子	3
	尾 崎 政 雄	3		阿 部 恵	1
高校13	斉 藤 勲	3	高校32	菅 野 隆 登 志	10
	富 岡 和 子	8		小 原 健 嗣	1
	奥 井 皓 夫	10		松 浦 昭 浩	3
	竹 村 裕	10		藤 川 由 美	1
高校14	林 健 一	3	高校33	五 味 祐	10
	G組クラス会	7		長 尾 一 明	3
高校15	堺 公 子	3		中 村 一 郎	3
	川 添 洋 子	3	高校34	安 達 亜 紀	10
高校16	小 島 弘	1		高 野 郁 人	1
高校18	貴 志 長 成	3		持 田 尚 子	2
	塩 谷 幸 彦	2.846		島 田 隆 司	3
	郡 明 郎	10	高校35	樋 口 貴 紀	10
	千 葉 優 子	3		千 葉 知 米 子	4
高校19	白 居 節 子	10		久 木 田 香 穂 里	1
	佐 達 郎	3		小 川 佳 枝	3
	高 橋 勉	3		高 良 直 人	10
高校20	野 崎 暁	3		柿 沼 健 史	3
	田 中 英 明	3		石 塚 由 記 子	3
	石 川 和 重	3	高校36	篠 憲 治	3
	西 川 洋 一	3		安 部 俊 哉	1
	出 井 喜 一	8	高校37	高 橋 一 介	10
高校21	片 桐 隆	10		市 原 毅	8
	遊 佐 暁 彦	3		山 下 三 保	8
	原 田 陽 介	3	高校38	中 間 古 ミ	3
	宮 本 静 代	10		相 田 智 成	3
高校22	名 方 幸 彦	10		那 須 久 美 子	3
	穴 井 節 子	10	高校40	満 川 元 貞	1
	戸 倉 賢 二	3		高 橋 輝	3
高校23	山 下 昭 夫	7	高校41	岡 澤 周 子	3
	矢 島 麻 由 美	10		匿 名 希 望	3
	守 村 卓	10		吉 浦 和 孝	2
	重 松 明 夫	1	高校47	小 金 平 朝 子	8
高校24	佐 藤 健 司	8		宮 川 伸 一	8
	都 竹 春 生	8		中 島 浩 樹	2
高校25	中 条 啓 一 郎	10	高校51	葛 城 英 彦	3
	村 上 俊 雄	3	高校71	江 尻 翔	1
高校26	橋 本 宏 樹	8	高校73	關 根 悠 里 子	10
	杉 野 俊 哉	1			
	大 谷 哲	3			
	岩 倉 昭 博	2			
	金 子 守	1			

（敬称略、単位：千円）
寄付者数：110件 647,346円

井草会事務局

〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内
ホームページ：https://www.igusakai.org

※お問合せはホームページからお願いいたします。